

2016年

5月

中国四国農政局

愛媛支局

News Letter

学校給食を通じて地産地消の拡大を ～今治市の取組～

今治市では、学校給食を一括調理していた給食センターの老朽化に伴い自校方式の調理場導入を決め、昭和58年の鳥生（とりう）小学校を皮切りに自校方式・親子方式の調理場を順次整備しました。また、これを契機として保護者や有機生産グループから要望があった有機野菜を含めた地元産農産物の使用を開始しました。全調理場に栄養士を配置し、独自に献立を作成して手作りにこだわった給食を提供しています。

食材は今治立花農協、越智今治農協の農産物直売所「さいさいきて屋」及び市内の卸業者や個人商店から地元産を優先的に購入しています。



学校給食の様子



調理場での給食づくり

調理場ごとに献立が違うことで1調理場当たりの野菜等の必要数量が少なくすむため、地産地消の推進を図ることができています。地元産は規格がまちまちで調理には手間がかかりますが、安心・安全なものをできるだけ安く提供することを基本にしています。

週5日のうち3日以上を米飯給食とし、平成17年（旧今治市は平成11年）から全量を市内産特別栽培米※に切り替えました。また、生産量が少ないため全てをまかなうことはできませんが、パンにも地元産小麦を使用しています。更に、年に数回は地元の魚を使用し、一部の小学校で地元産大豆を使った豆腐を提供するなど、地産地消の取組は益々広がっています。

学校給食から始まった地産地消の取組を一般家庭にも広げるため、同市では平成15年に「いまばり地産地消推進会議」を立ち上げました。地元食材を使用する飲食店や加工食品の製造業者を認証し、ロゴマークやステッカーを配布したり、協力店を紹介するマップを作成して利用を呼びかけた結果、地産地消の一定の定着を図ることができました。更に、平成18年には「今治市食と農のまちづくり条例」を制定し、「地産地消の推進」、「食育の推進」、「有機農業の振興」を市の責務としたまちづくりのビジョンを明らかにしました。同市では、今後も地元農林水産物の消費を拡大し、生産の振興を図る取組を進めることとしています。



手作りにこだわった献立

※特別栽培米：農薬や、化学肥料の窒素成分を、地域の慣行栽培基準の50%以下に抑えて栽培した米

地域資源を守り農業・農村の活性化を図る ～北条地区環境保全会（愛媛県西条市）～

平成27年度多面的機能発揮促進事業の多面的機能支払において、中国四国農政局長表彰優秀賞組織に選定された、「北条地区環境保全会」（西山久智会長）を訪ねました。

北条地区は、愛媛県西条市の沿岸部のほぼ中央に位置し、四国山脈と瀬戸内海に囲まれた自然豊かな地域です。

平成20年度、地区内の農地や農業用施設の保安全管理を図ることを目的に「北条地区環境保全会」が設立されました。同保全会では、農家のみなさんに加えて地域住民のみなさんも共同して水路の泥上げ、草刈、農道の舗装などの取組みを行っています。

また、農業用施設の整備だけでなく、地域の子も達と一緒に近年減少している鯉の稚魚などを放流したり、用水の取り入れ口等へ魚道も作りました。また、市道沿いや通学路沿いの収穫を終えた約2.5 haの農地にレンゲの種撒きをしたことで、殺風景だっ



水路掃除の様子



標語付き花のプランター

た農地一面に花が咲き、今では本地区の名物となっています。更に、冬季には、地区全域の水路の横に地域の子も達と一緒に植えた花のプランターを標語付きで置いて、美しい景観を維持しています。西山会長は「地域の人と協力して作業を行うことで、繋がりも強くなってきた。引き続き一体感を持って取り組んでいきたい」と語っています。

農林水産省では、農業・農村の有する多面的機能が適切に維持・発揮されるよう、地域の共同活動を支援しています。今後同保全会のような共同活動が広がることで、地域の貴重な資源である農用地が守られるだけでなく、良好な地域社会が形成されることが期待されます。

インフォメーション

「農作業安全ポスターデザインコンテスト」を開催中

近年、農作業中の死亡事故が350件発生しており、農作業事故防止に向けた対策を強化し、事故件数を減少させることが喫緊の課題となっています。

このため、農作業安全に対する国民意識の醸成及び効果的な推進を図ることを目的とした「農作業安全ポスターデザインコンテスト」が開催されており、広く作品を募集しています。

テーマ 『家族や仲間と声かけ合って農作業事故防止』

- ★ 募集対象 絵画・イラスト・CG・写真などの平面作品
- ★ 作品サイズ A4サイズ・タテ（印刷はA2サイズになります）
- ★ 応募期間 平成28年4月25日（月）～7月8日（金）

例えば、

- ① 農業をする人や農業機械のイラストを使ったもの
 - ② キャラクターを使ったもの（キャラクターはオリジナルのものに限ります）
 - ③ 写真と安全フレーズを使ったもの
- など、農作業安全に関する内容であれば、どのようなデザインでも応募可能です。

詳しくは農林水産省ホームページをご覧ください（「農水省 農作業安全」で検索）
http://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/s_kikaika/anzaen/28poster_design.html



「少しだから大丈夫」を「少しだけど要注意」へ。

2015 中国四国農政局長表彰 優秀賞

編集：中国四国農政局 愛媛支局

〒790-8519 松山市宮田町188番地 松山地方合同庁舎

TEL (089)932-1177 FAX(089)932-1872 <農政局HP><http://www.maff.go.jp/chushi/>

◆各種メールマガジンを配信中（登録はこちらから）<http://www.maff.go.jp/chushi/mailm/index.html>